

## 安全・安心で持続可能な未来のための社会的責任に関する研究会 の開催について

### 1. 趣旨

急速なグローバル化や技術革新の進展、気候変動など地球規模の問題の深刻化等を背景に、法令や規制の枠組みを超えた、組織の自主的な取組を求める動きが世界的に強まっている。我が国においても、安全・安心の確保や地球環境への配慮をはじめとして、組織がそれぞれの社会的責任を主体的に果たしていくことが一層求められている。

こうした中、「長期戦略指針『イノベーション25』」(平成19年6月1日閣議決定)や「国民生活における安全・安心の確保策について」(平成19年6月4日国民生活審議会意見)において、民の自主的な取組を支える環境整備を目的として、「社会的責任の取組促進に向けたステークホルダー円卓会議(仮称)」(以下、「円卓会議」という。)を開催すること等が提言された。ここで提言されている政策枠組が実効性をもって機能し、社会的責任の取組促進に向けた環境整備が進展するのであれば、安全・安心の確保のみならず、広く持続可能な発展に資することが期待される。また、官主導の規制社会から脱却し、市場規律とステークホルダーへの説明責任に立脚した健全な市場社会に移行することは経済の活性化に貢献するほか、社会的責任の取組が進展する過程で、環境技術等我が国の強みを活かした技術革新が進行することにより、産業の競争力強化にも繋がる。

折しも、国際社会においては、2009年11月に国際標準化機構(ISO)による社会的責任に関する国際規格(ISO26000)の発行が予定されるほか、一部の先進諸国においては、企業活動を社会や環境面からも積極的に評価する市場の傾向を前提とし、各種の制度整備に向けた動きが広がりを見せている。この時機に、社会的責任を巡る世界的な潮流と我が国における動向を符合させ、我が国が国際社会や地球環境に対して責任ある経済大国としての地位を確立する上で、円卓会議の開催は急務である。

本研究会は、安全・安心で持続可能な未来の実現に向けた円卓会議の必要性に賛同する各分野の有識者によって構成され、円卓会議の制度設計や扱うべき政策課題について専門的な立場から検討を行い、必要な提言を行うことを目的とする。

### 2. 研究会の検討課題

#### ・ 円卓会議の制度設計

円卓会議の目的と審議事項、機構と構成、運営方法・体制などについて検討を行う。

#### ・ 社会的責任の取組促進に向けた環境整備のための方策

社会的責任投資や社会的責任調達等の促進策等、社会的責任の取組促進に向けた環境整備策の在り方について検討を行う。